

事務事業チェックシート

事務事業No 699 事業名 博物館施設維持管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業種別	継続	
事業期間	～	
事業実施の根拠法令	博物館法・和歌山市立博物館条例	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	博物館	額田 雅裕 (423-0003)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	社会教育費		
	目	博物館費		
	大事項	博物館事業		
事項	博物館施設維持管理事業			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	博物館の維持管理と博物館の運営全般。	空調器機の維持管理・セキュリティーの確保・館内外の清掃等管理委託している。29年度についても、館運営を円滑に行うことを目的に維持管理に勤める。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		館等建物の適切な維持管理を実施し、施設の故障等による臨時閉館の事態を避けるとともに、コーナー展示の展示替え等魅力ある常設展示に努める。	館等建物の適切な維持管理を実施し、施設の故障等による臨時閉館の事態を避けるとともに、コーナー展示の展示替え等魅力ある常設展示に努める。	館等建物の適切な維持管理を実施し、施設の故障等による臨時閉館の事態を避けるとともに、コーナー展示の展示替え等魅力ある常設展示に努める。	館等建物の適切な維持管理を実施し、施設の故障等による臨時閉館の事態を避けるとともに、コーナー展示の展示替え等魅力ある常設展示に努める。	館等建物の適切な維持管理を実施し、施設の故障等による臨時閉館の事態を避けるとともに、コーナー展示の展示替え等魅力ある常設展示に努める。

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	38,964	39,317	41,698	41,469	39,386	39,507	50,808			
伸び率 (%)	-	-	7.0%	5.5%	▲5.5%	▲4.7%	29.0%	▲100.0%	▲100.0%	-
人件費										
正規職員	14,588	11,985	11,985	10,314	10,314	10,788	10,788			
正規職員以外	5,661	5,655	5,655	4,962	4,962	4,696	4,696			
小計	20,249	17,640	17,640	15,276	15,276	15,484	15,484			
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	1,992	929	1,336	1,060	1,135	814	1,060			
一般財源 (税等)	36,972	38,248	40,362	40,409	38,251	38,693	49,748			
所要人数 (人)										
正規職員	1.95	1.59	1.59	1.39	1.39	1.42	1.42			
正規職員以外	2.85	2.86	2.86	2.80	2.80	2.47	2.47			
主な予算内訳	管理委託料 21,790千円		機械修繕料 13,144千円		光熱水費 8,468千円		所々修繕料 393千円等			

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
			目標値	実績値	達成度 (%)	目標値	実績値	達成度 (%)
施設	施設の修繕箇所数	件	0	8		0		
			0	8	8	0		
成果指標	入館者数	人	12,000	11,668	97.2%	12,000	12,372	102.4%
			12,000	12,002	100.0%	12,000	12,372	103.1%
	施設の故障等による臨時閉館日数	日	0	0	100.0%	0	0	100.0%
			0	0	100.0%	0	0	100.0%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	博物館は昭和60年11月に開設以来改修やリニューアルといったハード面の改修を行っていない。歴史博物館という性格上様々な制約があるが、職員一丸となりクリアしている。しかし、博物館の心臓部ともいえる空調機器も開設以来改修されていない。冷暖房の時短化やこまめな節電により光熱水費を抑えることはできても機器の老朽化はとめることができない。当館は、デマンド監視システムを導入しているため重要な館蔵品が納められている特別収蔵庫の温度湿度を確保するため入館者がいる展示室以外の空調を停止することもしばしばあり、職員の努力により通常運営ができています。館内エレベータ2基のうち1基の修繕が認められたが、館運営に最も重要な貨物用エレベータの修繕については、見送られたため、展示会や館蔵品搬入出に大きな支障をきたす。
見直し・改善内容	空調機をはじめすべての設備が老朽化による劣化が進んでいるため、個別の修繕ではなく大規模な改修を行ない適切な収蔵・展示環境を維持する。また、施設の維持管理や人事管理の事務を処理する庶務班については、正規職員が班長1名しかいないため、柔軟な施設管理もできず、事務についても停滞がちになるため。早急に事務職員を増員し、適正な班体制を整える。